

2023年度 御幸病院リハビリテーション統計

目次

1 リハビリの実施単位数

- ①1患者1日あたりのリハビリ単位数・病棟別
- ②回復期リハ病棟(脳血管リハ)
- ③回復期リハ病棟(運動期リハ)
- ④回復期リハ病棟(廃用リハ)
- ⑤84歳以下・85歳以上・全体回復期リハの実施平均比較
- ⑥心大血管リハ 疾患分類
- ⑦心大血管リハ1患者1日あたりのリハビリ単位数
- ⑧摂食機能療法介入件数

2 退院患者

- ①回復期リハ病棟 最終退院先退院患者
- ②心大血管リハ 最終退院先退院患者

3 リハビリによる改善

- ①回復期FIM入院時・退院時の散布図
- ②地域包括ケア病棟FIM入院時・退院時の散布図
- ③心大血管リハ対象者のFIM入院時・退院時の散布図
- ④食事 FIMの改善(回復期リハ病棟)
- ⑤トイレ FIMの改善(回復期リハ病棟)
- ⑥移乗 FIMの改善(回復期リハ病棟)
- ⑦移動 FIMの改善(回復期リハ病棟)
- ⑧2023年度回復期リハ病棟実績指数(アウトカム)
- ⑨オムツ離脱率(回復期リハ病棟)
- ⑩5m歩行速度の改善(心大血管リハ)
- ⑪握力の変化(心大血管リハ)

1 リハビリの実施単位数

① 1患者1日あたりのリハビリ単位数・病棟別

当院では、

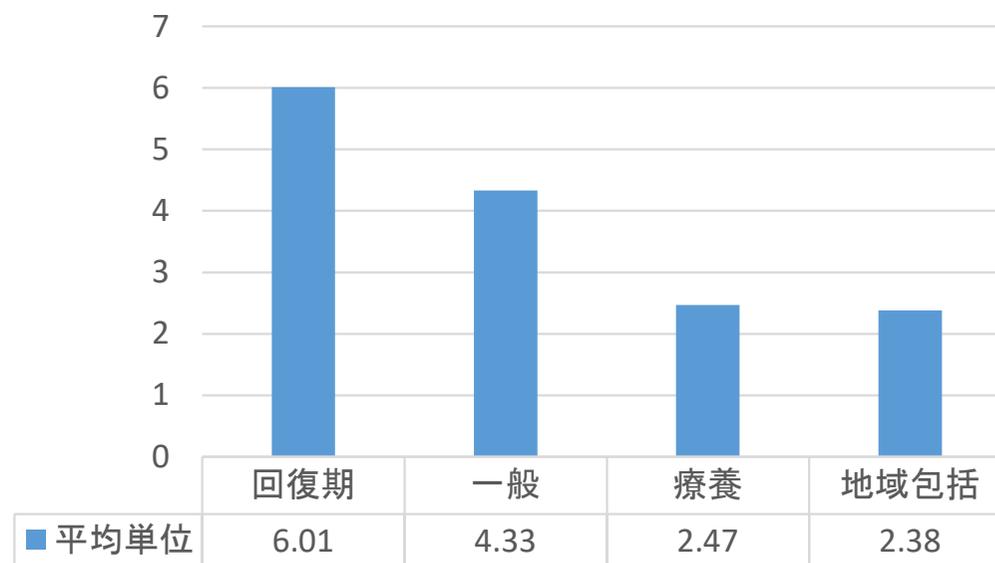
1日平均 回復期:6.01単位

一般 :4.33単位

療養 :2.47単位

地域包括:2.38単位

(1単位=20分)の個別リハビリテーションを実施しております。

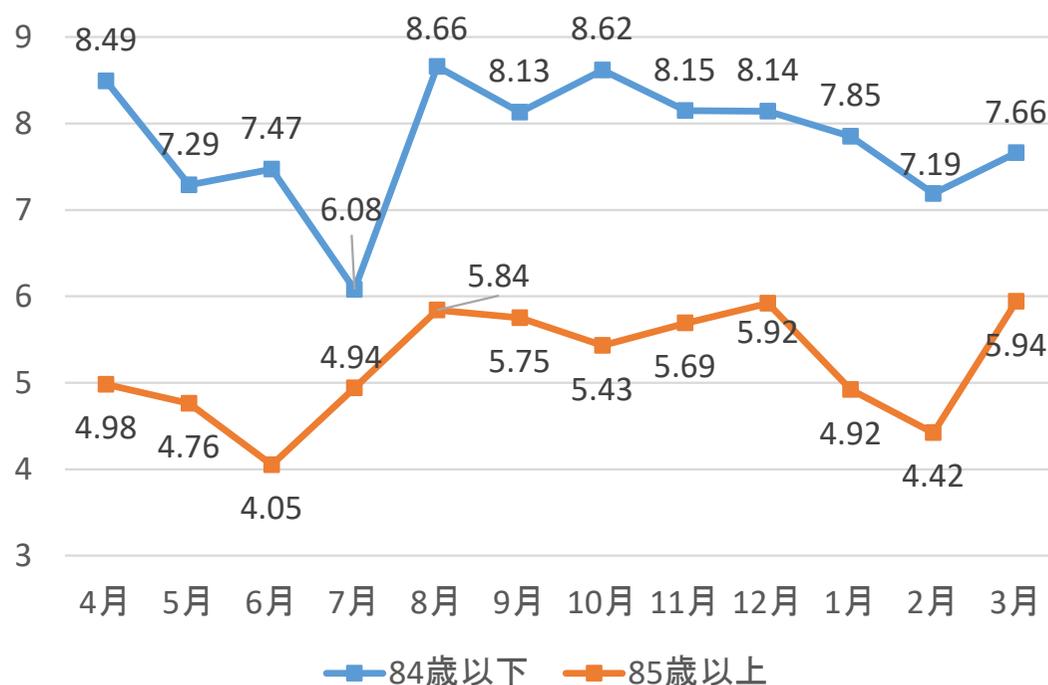


② 回復期リハ病棟（脳血管リハ） 1患者1日あたりのリハビリ単位数

84歳以下は、1日平均7.81単位、

85歳以上は、1日平均5.22単位

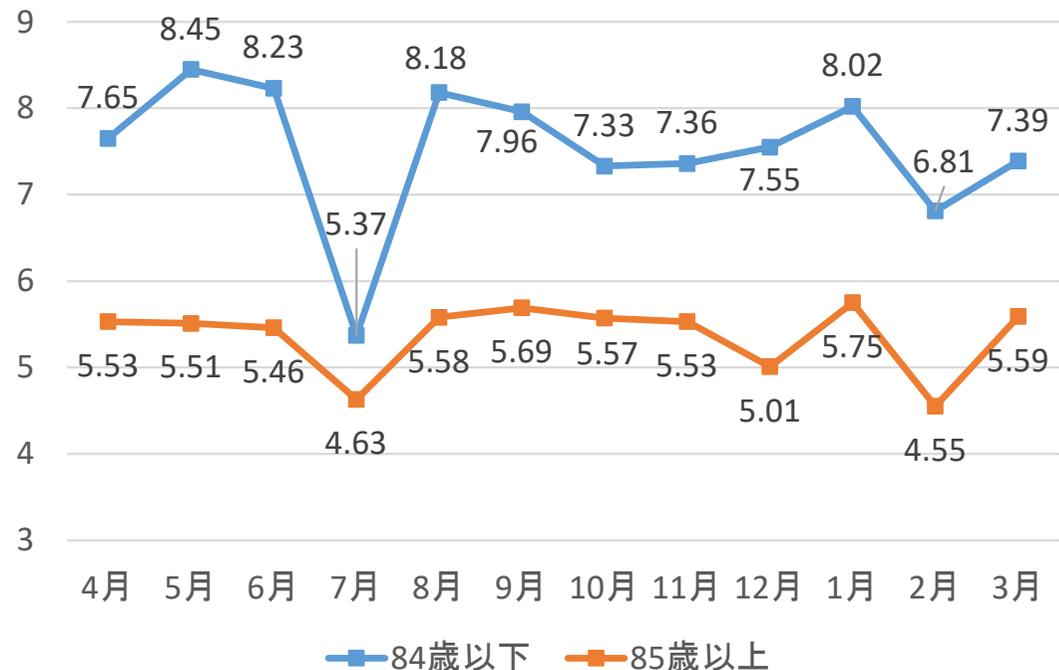
の個別リハビリテーションを実施しております。



1 リハビリの実施単位数

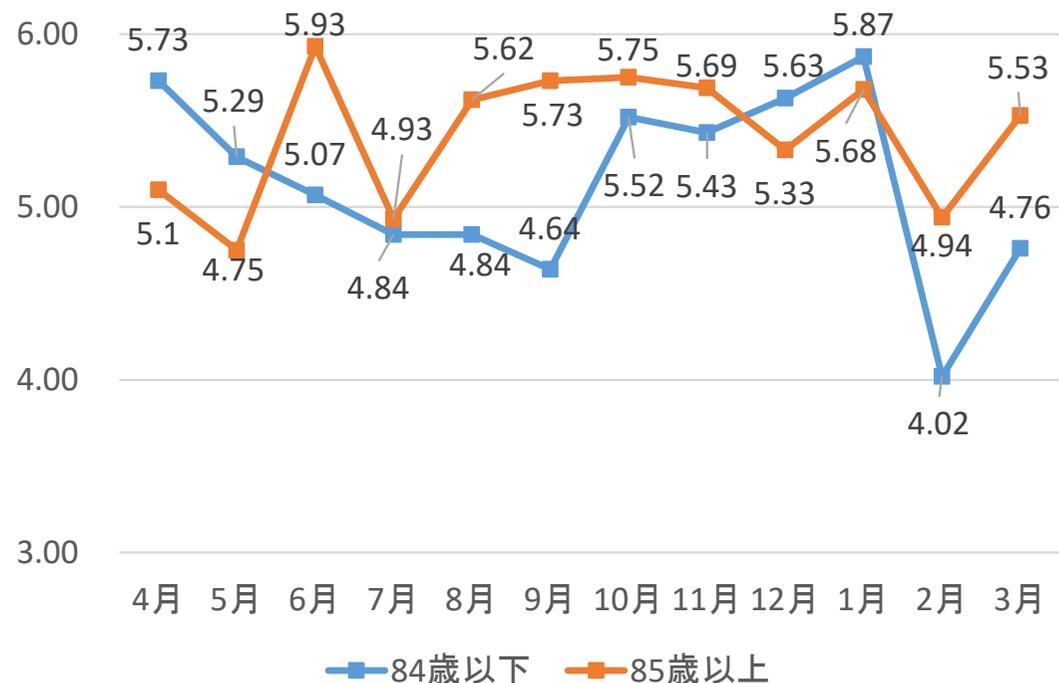
③ 回復期リハ病棟（運動器リハ） 1患者1日あたりのリハビリ単位数

84歳以下は、1日平均7.53単位、
85歳以上は、1日平均5.37単位
の個別リハビリテーションを実施しております。



④ 回復期リハ病棟（廃用リハ） 1患者1日あたりのリハビリ単位数

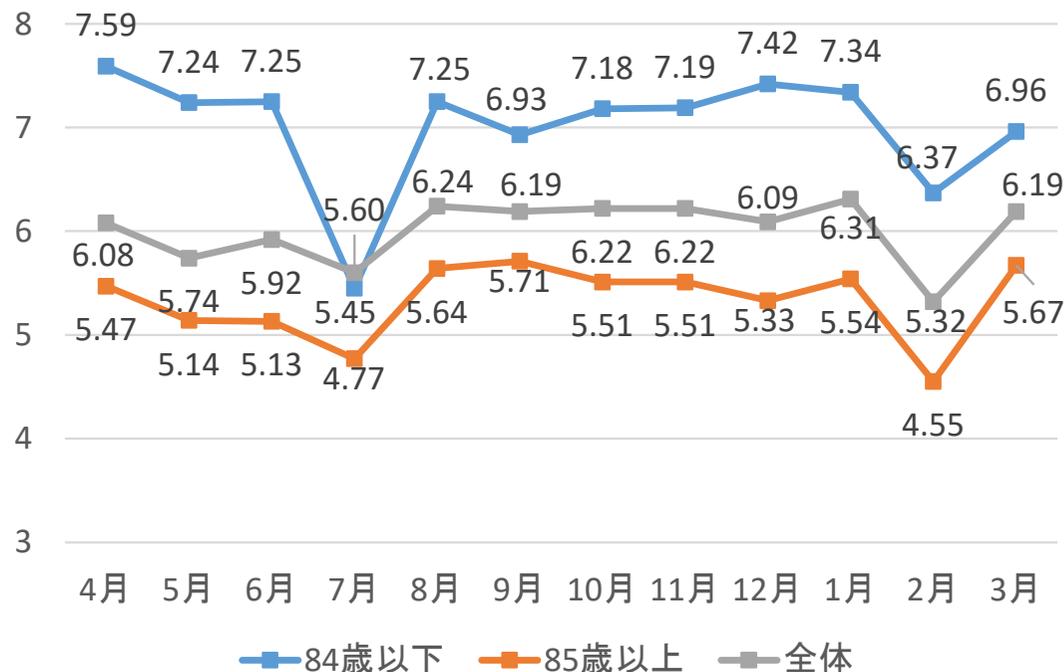
84歳以下は、1日平均5.14単位、
85歳以上は、1日平均5.42単位
の個別リハビリテーションを実施しております。



1 リハビリの実施単位数

⑤ 84歳以下・85歳以上・全体回復期リハの実施平均比較

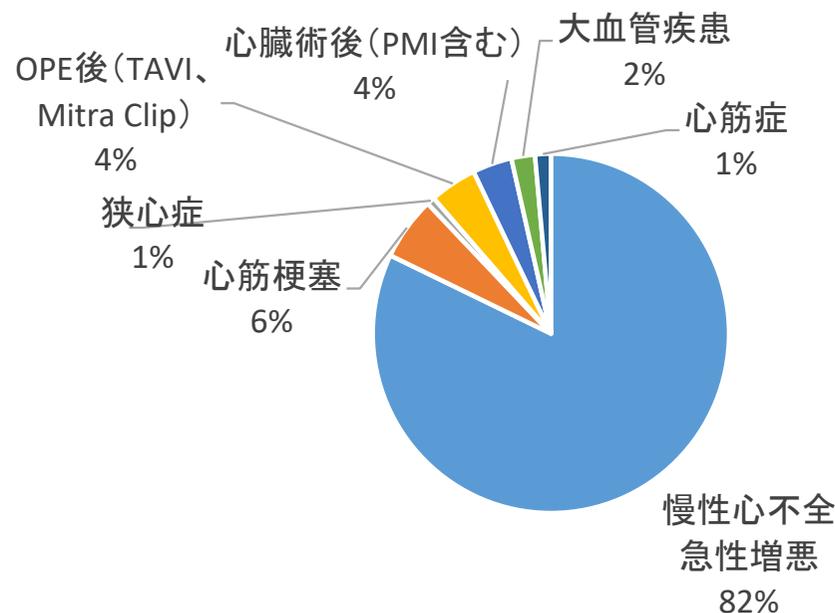
84歳以下は、1日平均7.01単位、
85歳以上は、1日平均5.33単位、
全体は 1日平均6.01単位
の個別リハビリテーションを実施しております。



⑥ 心大血管リハビリテーション疾患分類 (n=140)

「心不全」には慢性心不全やうっ血性心不全を含みます。(全例から死亡症例を除いた140例)

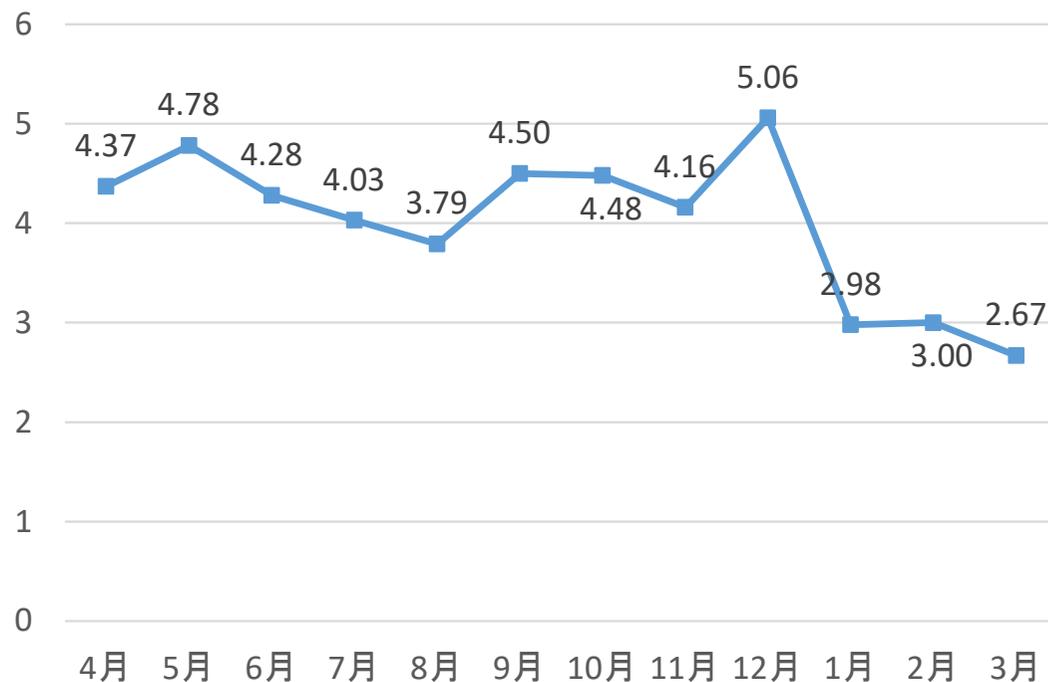
疾患名	人数
慢性心不全急性増悪	115名
心筋梗塞	8名
狭心症	1名
OPE後 (TAVI、Mitra Clip)	6名
心臓術後 (PMI含む)	5名
大血管疾患	3名
心筋症	2名



1 リハビリの実施単位数

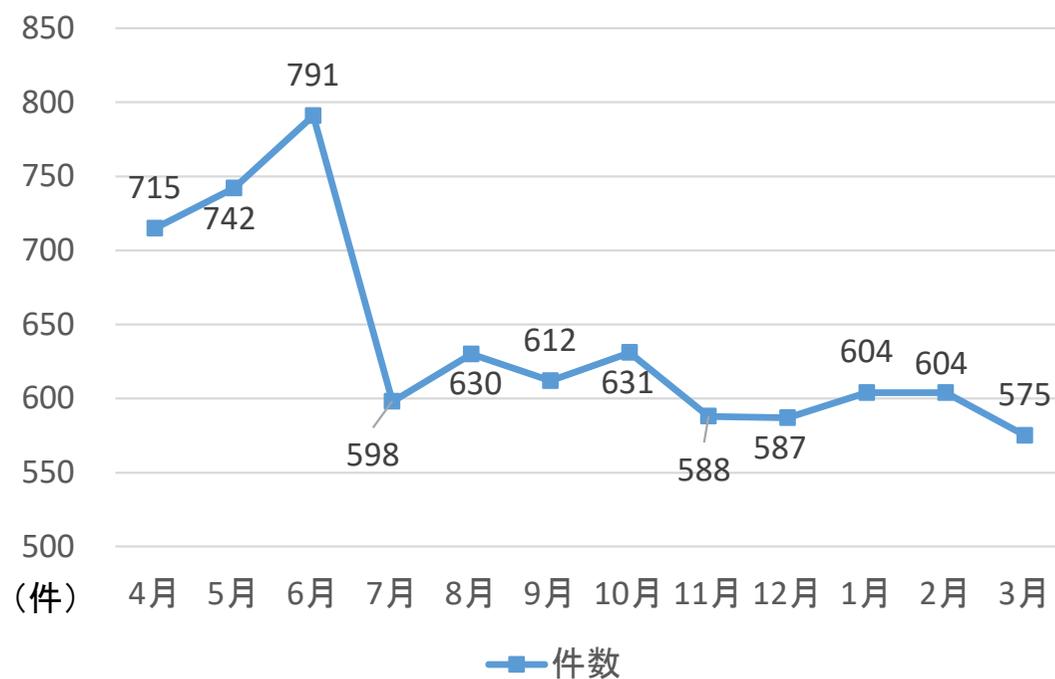
⑦ 心大血管リハビリテーション 1患者1日あたりのリハビリ単位数

心大血管リハビリの1人あたりの介入平均単位は4.01単位の個別リハビリテーションを実施しております。



⑧ 摂食機能療法介入件数

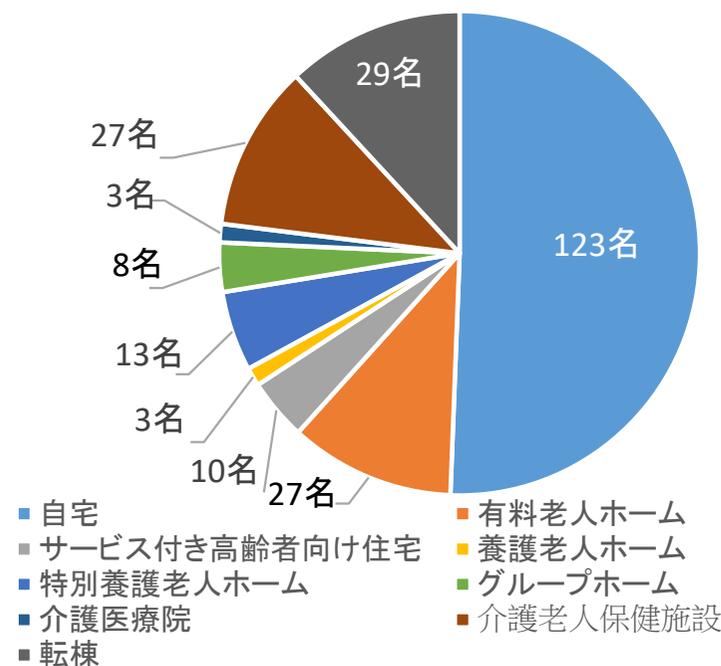
摂食嚥下リハビリテーションを行う
摂食機能療法は、月平均639.75件を
実施しております



2 退院患者

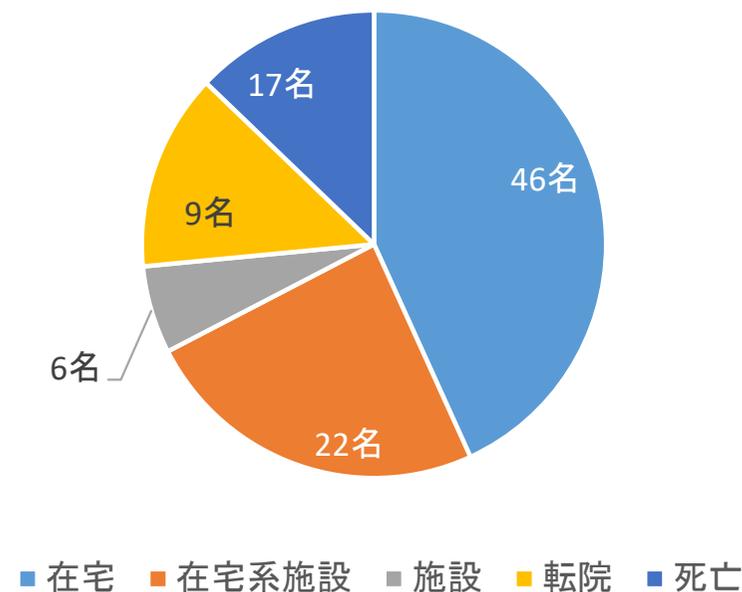
① 回復期リハ病棟最終退院先 (急性期病院転院・死亡退院除く) n=290

退院患者としては、在宅復帰率77.9%です。
(自宅・有料老人ホーム・グループホーム・特別
養護老人ホーム・サービス付き高齢者住宅
介護医療院 等)



② 心大血管リハ病棟最終退院先 n=132

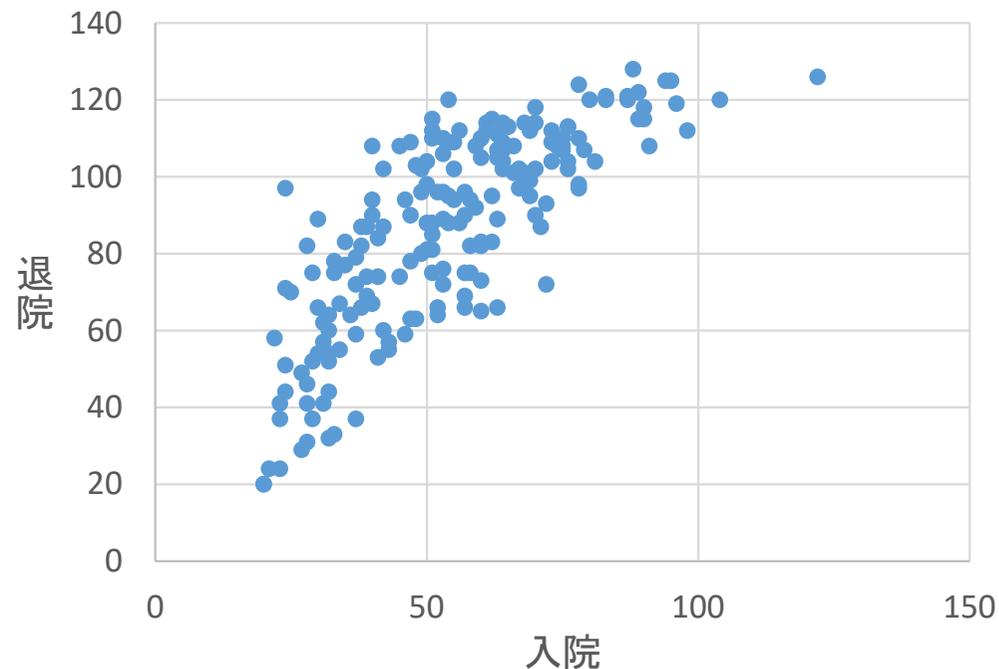
心大血管リハビリ症例中67.4%の、89名が在宅
もしくは在宅型施設へ退院することができました。



3 リハビリによる改善

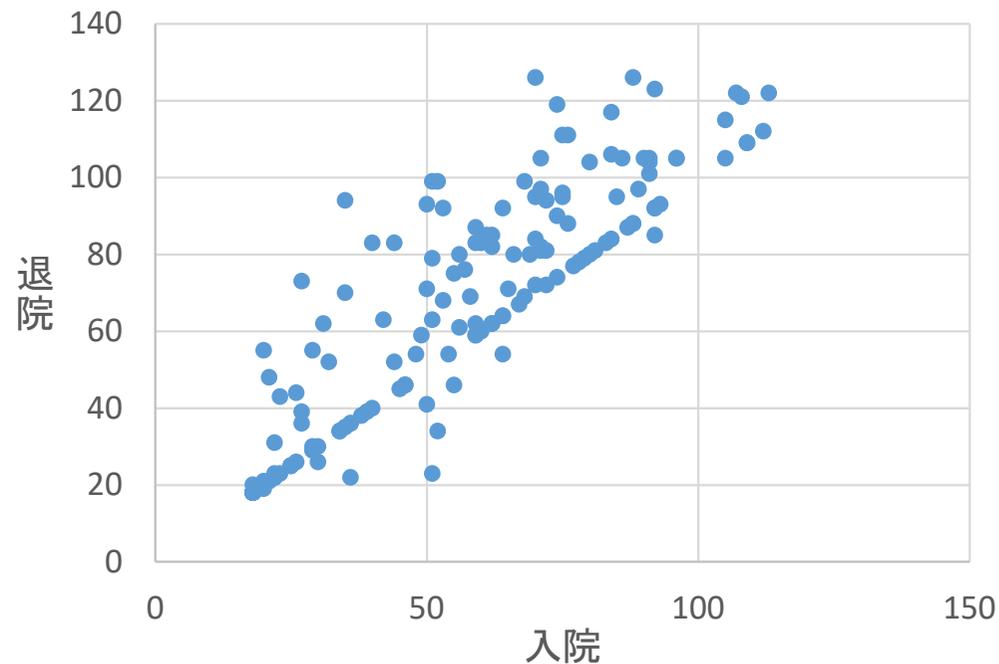
① 回復期リハ病棟 FIM入院時・退院時の散布 n=189

日常生活の自立度の指標である
FIM (Functional Independence Measure)の利得
(退院時平均FIM<86.71点>－
入院時平均FIM<54.08点>)は
平均で32.63点改善しています。



② 地域包括ケア病棟 FIM入院時・退院時の散布 n=165

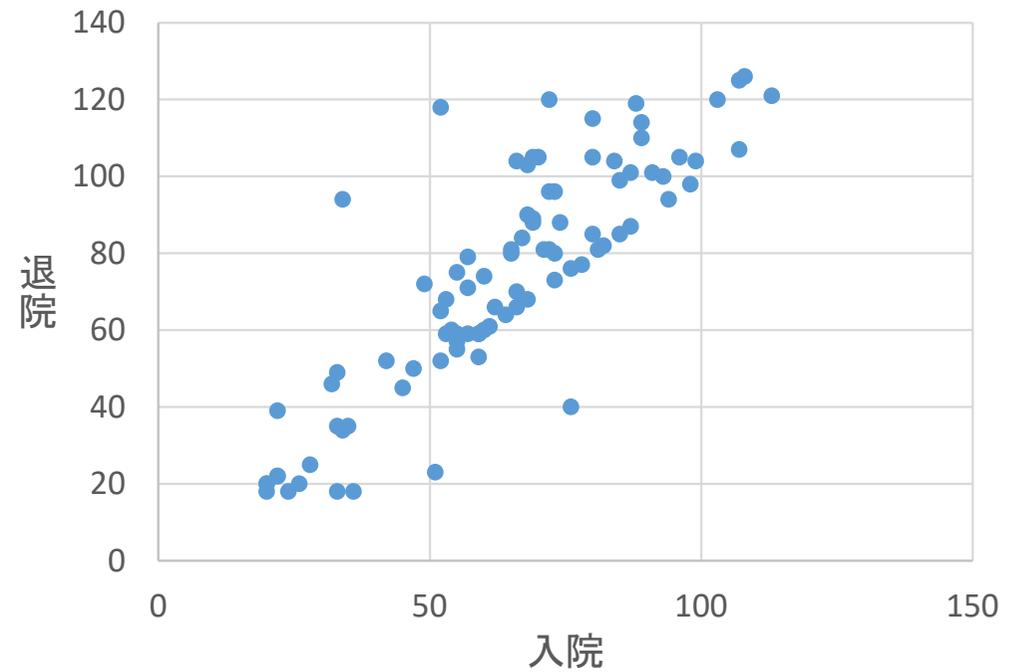
日常生活の自立度の指標であるFIMの利得は平均で
9.96点改善しています。



3 リハビリによる改善

③ 心大血管リハ対象者 FIM入院時・退院時の散布 n=92

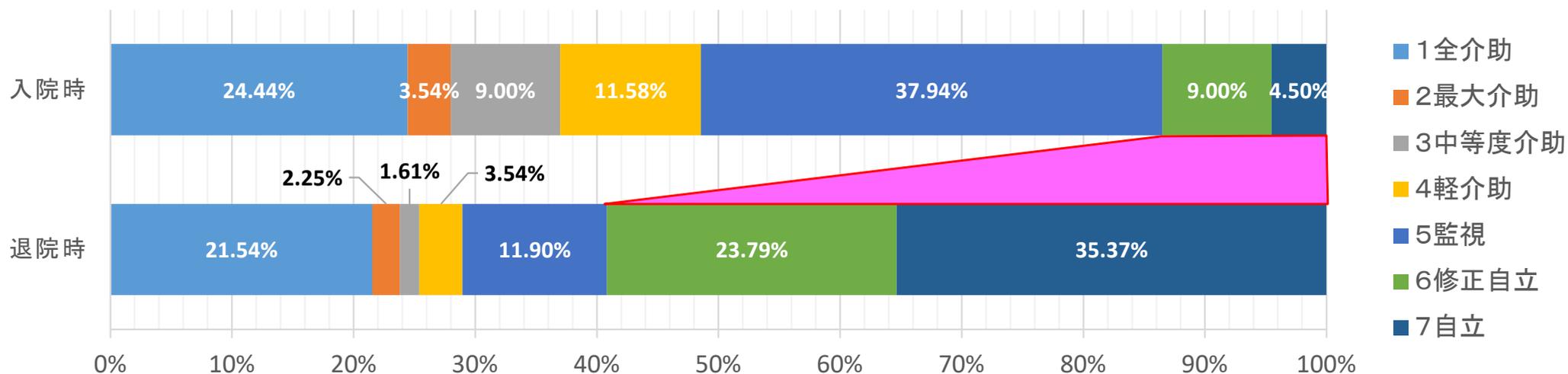
日常生活の自立度の指標であるFIMの利得は平均で9.63点改善しています。



3 リハビリによる改善

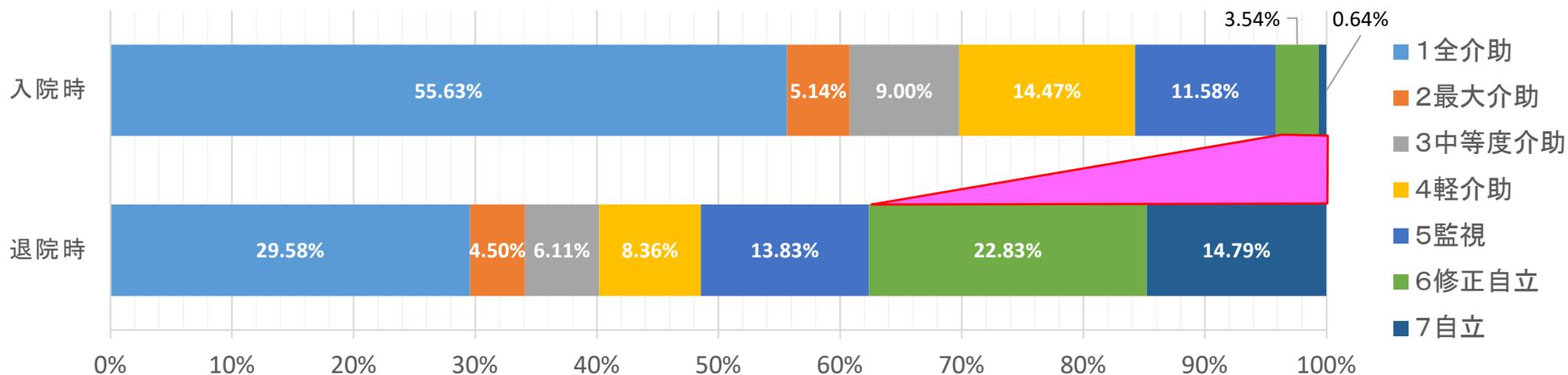
④ 食事 FIMの改善（回復期リハ病棟）

食事FIM(n=311) 13.5%⇒59.2%(6点以上になった割合)



⑤ トイレ FIMの改善（回復期リハ病棟）

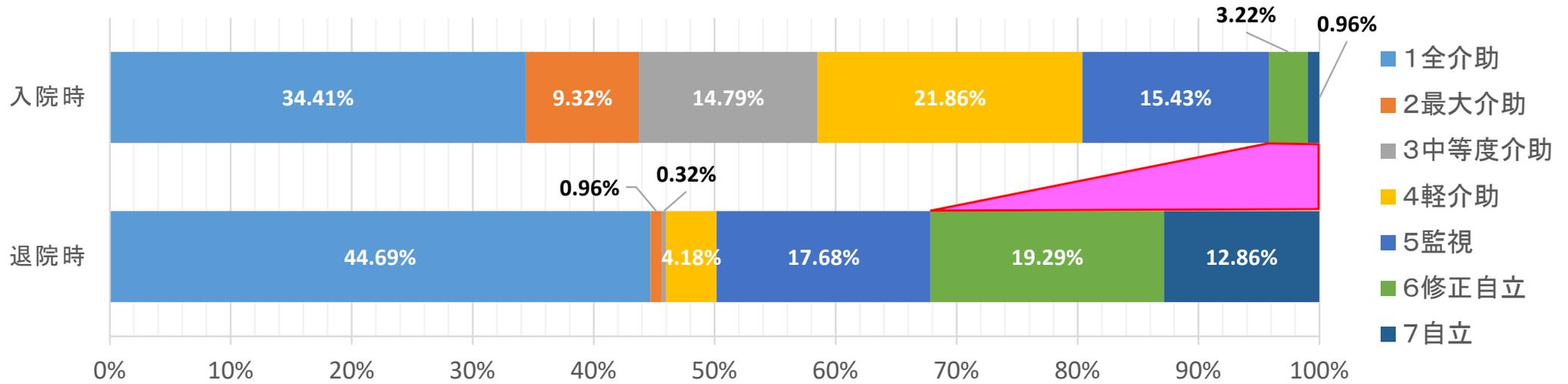
トイレFIM(n=311) 4.2%⇒37.6%(6点以上になった割合)



3 リハビリによる改善

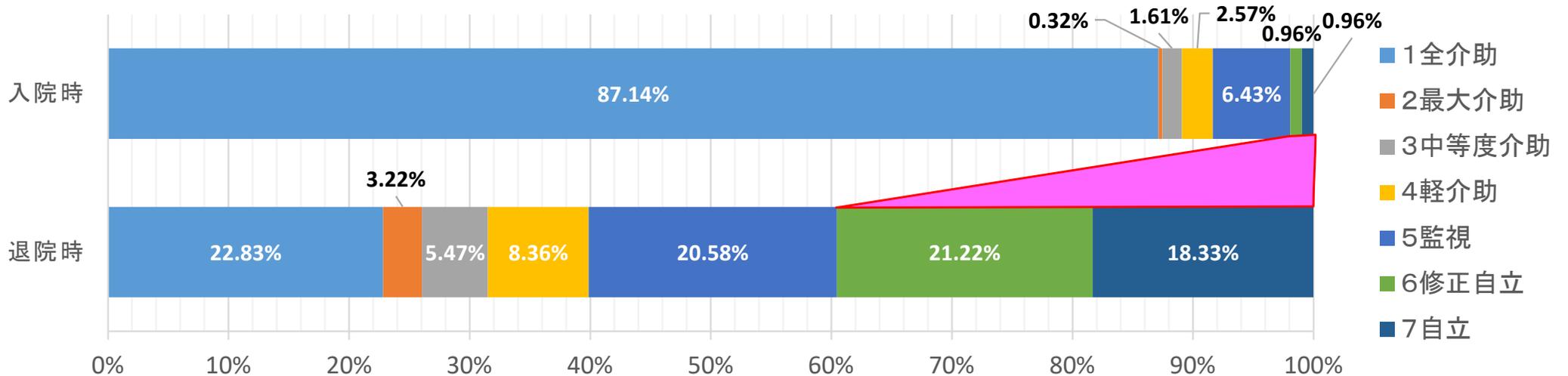
⑥ 移乗 FIMの改善 (回復期リハ病棟)

移乗FIM (n=311) 4.2%⇒32.2%(6点以上になった割合)



⑦ 移動 FIMの改善 (回復期リハ病棟)

移動FIM (n=311) 1.9%⇒39.5%(6点以上になった割合)



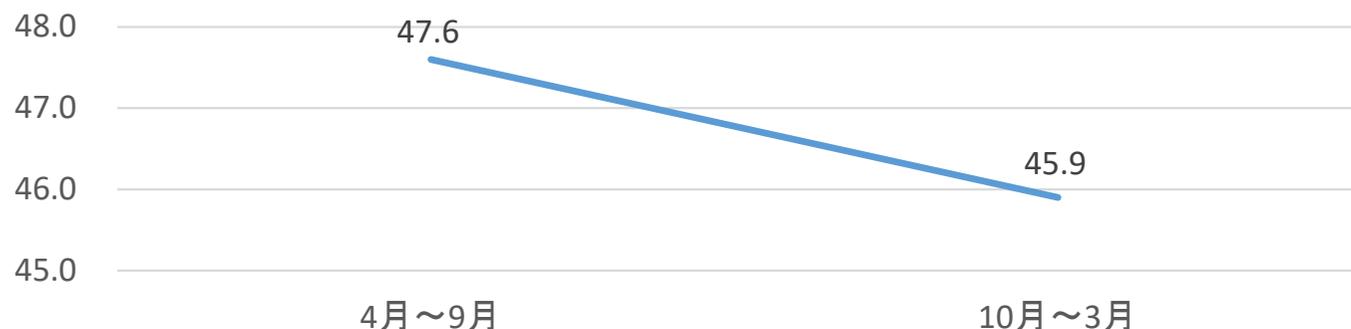
3 リハビリによる改善

⑧ 2023年度回復期リハ病棟実績指数（アウトカム）

リハビリテーション実績指数とは、FIM得点の改善度を、患者の入棟時の状態および在院日数を踏まえて指数化したものです。以下の式により算出します。

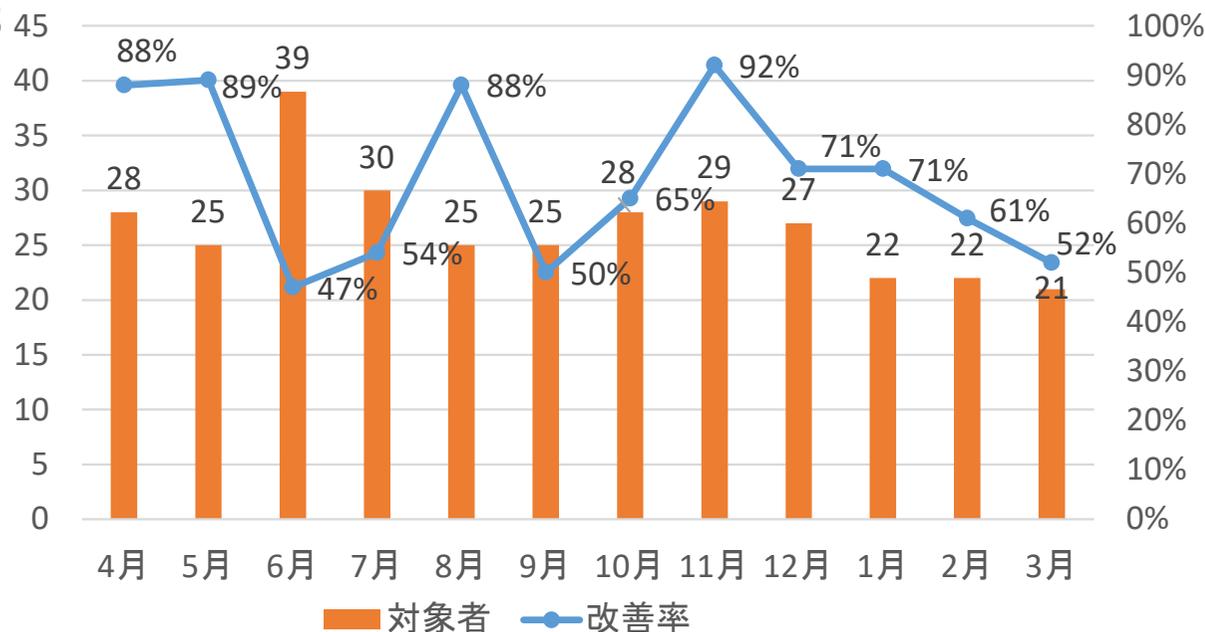
$$\text{実績指数} = \frac{\text{（退棟時のFIM運動項目の得点 - 入棟時のFIM運動項目の得点）}}{\text{（各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数）}}$$

厚労省の基準では実績指数が「40以上」であれば、一定の基準以上のリハビリテーションを提供していると判断されます。



⑨ オムツ離脱率（回復期リハ病棟） n=145

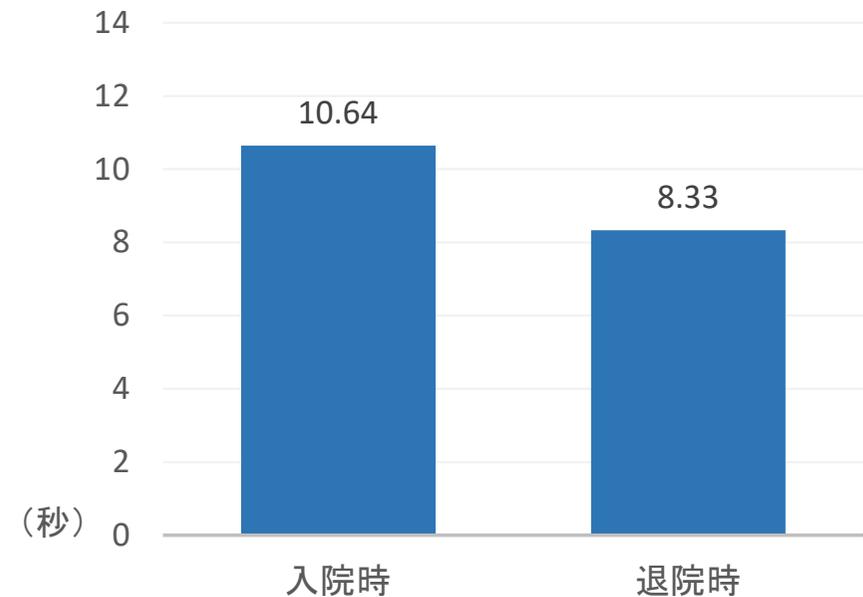
回復期病棟へ入棟された方のうち、平均69.0%の方がオムツを外すもしくはリハビリパンツや布パンツへ移行をしております。



3 リハビリによる改善

⑩ 5m歩行速度の改善（心大血管リハ） n=32

5m歩行速度です。入院時、退院時測定可能であった症例の平均値(秒)です。
測定時間が10.64秒から8.33秒と2.31秒短縮し、歩行能力の向上がみられます。



⑪ 握力の変化（心大血管リハ） n=67

握力です。入院時、退院時測定可能であった症例の平均値です。

